

健康と光線

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年 4 回発行
会費年500円

電話 東京 (03)
3793-5281
3712-5322

カルシウムに 摂り過ぎはあるか

神戸在住のS氏から、2011年3月10日の神戸新聞夕刊に落語家、桂米團治氏のコラム記事「病の原因」が掲載され、そこに「八訂版・スポック博士の育児書」にカルシウムの摂り過ぎは体に良くないと書いてあり、また日本人のカルシウム摂取量が昭和30年代まで1日300mgだったのが500mgを超えた頃から、糖尿病、パーキンソン病、骨粗しょう症の患者が増えたと書いてあるが、この二点について私の見解を「健康と光線」の紙面で開陳するように求められたのです。S氏は科学的因果関係を検証したものではないと思われると書いていますが、本号と次号の二回に分けて内容の矛盾点について述べます。

スポック博士の 育児書

本号では桂米團治氏が「スポック博士の育児書」の内容について、全く解っていないとい

か言えない点を取り上げます。博士はアメリカの小児科医ですが、1946年に第1版を出版

した育児書は世界42か国語に翻訳され、5000万冊販売されと言われています。1992年に第6版が出版され、日本で暮しの手帖社から最後の日本語翻訳版が1997年に出版されていますが、博士は初版から第6版まではバランスのとれた食事をしていてもカルシウムは不足する

カルシウムについての お問い合わせ

— スポック博士の育児書について —

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

返信1

第8版の「八訂版・スポック博士の育児書」は博士の意思を継いだニードルマン博士によって2004年に発刊されました。この第8版にも牛乳は体に良くないので薦められないと書いてありますが、カルシウムの摂り過ぎが体に良くないと書いてあります。

宗旨替えした スポック博士

第1版を出版した1946年から第7版が出版された1998年まで、「スポック博士の育児書」が牛乳こそ幼児のカルシウム補給源として最良であるという乳製品信仰を推し進めたと言っても過言でないと思います。その博士が第7版で、唐突に牛乳は薦めないと書いたのですから、反響は大きく、論争を巻き起こしたことは言うまでもありません。

博士が宗旨替えした理由は意外に単純で、博士が乳製品、肉、鳥、魚を含まない食事しか摂らないベジタリアンになったからです。博士はアメリカで自然食のマクロビオティック（玄米菜食の普及に努めていた久司道夫に持病の慢性気管支炎の治療のため食事指導を求め、1991年から玄米に味噌汁に野菜という食事になって持病が治り健康になったのです。

要はスポック博士が玄米菜食に替わったため、牛乳党から反牛乳党になったのであって、カルシウムの摂り過ぎは体に良くないとは何処にも書いてありません。



平成二十四年 元旦

株 東京光線療法研究所
サナモア光線治療院

(五日より営業します)

一病息災 一病息災

肝臓の病気

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

肝臓の働き

肝臓は上腹部に位置し、人体で最も大きく、重い臓器で、成人男性で約1・5 kg、女性では1・3 kgもあります。その肝臓の働きは、複雑で多岐にわたりますが、とくに摂取した栄養分を蓄え、それを必要な形に変化させて供給する化学処理工場としての役割が大きく、人が生きていく上で、なくてはならない肝心かなめの臓器なのです。また、肝臓の特徴として、再生能力の高さが挙げられ、肝臓の%を切除しても、元通りに再生してしまいます。

△肝臓の主な働き▽

- ☆栄養分の分解と合成。
 - ☆栄養分を貯蔵し、必要に応じ血液中に放出。
 - ☆腸内の消化・吸収を助ける胆汁を産生。
 - ☆アルコールなどの有害物質を分解。
 - ☆破壊された肝細胞の再生。
- 肝臓病で見られる症状**
- 何らかの原因で肝臓が障害されると、様々な症状が表れます

が、初期には、全身倦怠感、食欲低下、顔色不良、体のかゆみ、手掌紅斑、女性化乳房などの症状を呈します。

多くの肝臓病では、慢性の経過をたどることがほとんどで、急性肝炎から慢性肝炎、肝硬変と進展していきます。肝硬変の段階まで進行すると、ビリルビン上昇による黄疸、アルブミン低下によるむくみや腹水、出血傾向にもなる吐血や下血などの症状が出現し、最終的には、科学処理工場としての機能が破綻して、アンモニアなど有害物質の蓄積から、肝性脳症をきたし、死亡という経過をたどることになります。

肝障害をきたす原因

日本人における肝障害（脂肪肝を除く）の原因の約八割は、肝炎ウイルスによるもので、肝炎ウイルスには、A型、B型、C型、D型、E型、G型の六種類が確認されています。さらには、長期にわたる多量の飲酒によるアルコール性、薬剤中毒や薬剤アレルギーにもなる薬剤性、肝細胞を形成するたんぱく

質を異物と認識し、攻撃することによって発症する自己免疫性があります。

また、最近では、後述する非アルコール性脂肪性肝炎（NAFLD）が、注目されています。

非アルコール性脂肪性肝炎（NAFLD）とは

NAFLD（ナッシュ）は、習慣性の飲酒歴がなく、脂肪肝をもたにして起こる病気で、通常の脂肪肝と比べて、約10倍の確率で肝硬変まで進行すると言われています。1998年に独立した疾患であることが認められ、米国では、国民の3%から5%がこの疾患に罹患していると推定されます。欧米では、日本と異なり、ウイルス性肝炎の有病率が低いため、NAFLDが肝硬変の主な原因と考えられているのです。また、これまでの欧米の調査で、NAFLDの約半数に病状の進展を認め、5人に1人が肝硬変に至ると考えられており、NAFLDが代謝症候群と密接な関係にあること、内臓型肥満と関連があることが示唆されています。

病気と光線療法

ウイルス性肝炎が減少傾向に向かう本邦においても、過栄養状態にある現代の私たちのライフスタイルを考えると、今後増加が心配される肝臓病の一つと言えるのかもしれない。

昔から肝臓病には安静が第一で、とくに食後は、横になって休むことが推奨されてきました。しかし、最近では、食後すぐに運動するような無理をしなれば、肝臓への血流は、減少しないことが明らかになり、食後の安静は、特段必要でないと考えられ、かえって、そのような生活が過ぎると、脂肪肝を併発する危険が高まると注意喚起されています。安静が必要となるのは、急性肝炎や慢性肝炎の増悪期などに限られると考えてよいでしょう。

しかし、肝臓病において、肝細胞の再生を助けるため、少しでも肝臓への血流量を増やすことは重要で、その目的に合致したサナモア光線療法は、肝機能の回復に役立ちます。

謹
賀
新
年

明けましておめでとうい
ます。今年は辰年です。竜頭蛇
尾とならないように、一年を通
して、サナモア光線療法のさら
なる普及に精進する所存であり
ますので、よろしくお願い申し
上げます。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.48

宇都宮 正範

第十七期

サナモア光線治療師 養成講座のお知らせ

本年も、サナモア光線治療師
養成講座を六月末に開講する予
定でありますので、光線治療院
の開業をご検討されている方や
サナモア光線療法について勉強
したいとお考えの方は、サナモ
ア光線治療院（〇三―五五九―
三七一〇）までご連絡下さい。
なお、日程等の詳細につきま
しては、次号に掲載させて頂き
ます。

第三十六回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や
治験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般
のご愛用者の方も是非ご参加下
さい。なお参加は無料です。

日時：四月二十一日(土)

午後二時三〇分

場所：サナモア光線治療院

三階会議室

サナモア光線治療院

受診者の声

現在、多くの方が、サナモア
光線治療院にいられています。
全身照射の体験目的の方、自宅
での治療を補完する目的で月に
一回程度来られる方、治療院で
の治療を主とし週に数回来られ
る方など様々ですが、その方々
の貴重なご意見やご感想を、
「受診者の声」として掲載致し
ます。

☆ワ―ゴ ロバートさん

(75歳、男性)

平成二十一年四月に高熱が続
いたため、大学病院で検査入院
をしたところ、腎臓と副腎にか
なり大きな癌があることが判明
し、五月から二か月間入院し、
抗癌剤治療を受けました。しか
し、全身倦怠感と極度の食欲低

下を認めたため、これ以上の治
療に耐えられないと判断し、自
己退院しました。

それから、毎週、大学病院
で血液検査を行い、抗癌剤をも
らうといった形での在宅療養を
始めましたが、その頃から、サ
ナモア光線治療院に、週に二回
通い始めました。その年の十月
の終わり頃、もう打つ手がない
から覚悟しておくようにと大学
病院の医師から宣告されました。
ところが、十一月の初めに行っ
たCT検査で、腎臓の癌が半分

に縮小していたのです。それを
見た医師が、本当にびっくりし
ていた様子は今でも忘れられま
せん。

あれから二年以上が経ちまし
たが、六週間に一度、大学病院
を受診して、抗癌剤を受け取り、
サナモア光線治療院には、週に
二回のペースで通い続けていま
す。これまで、助けていただき、
治療院の皆様には、感謝の気持
ちでいっぱいです。これからも
よろしく願います。

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

第23回

日本療術学会から

愛知県 ホテル日航豊橋

平成23年11月13日～14日

シンポジウム

「療術が支える
健康生活」

財全国療術研究財団
光線部門
宇都宮光明

光線療法と
健康生活

光線療法が健康生活を支える
有用性について、紫外線で生成
されるビタミンDのカルシウム
代謝調節ホルモンとしての作用
とビタミンD受容体を介して細
胞分化を誘導する作用について
述べ、併せて難治で生活の質

(QOL)を著しく損なう慢性痛
症の治療に赤外線・温熱作用を
応用して、患部の血行を促し自
己治癒力を高めることの効能に
ついて述べる。

ビタミンDと

カルシウム代謝

ビタミンDはカルシウムの吸
収と排泄、細胞内カルシウム濃
度を細胞外カルシウム濃度の一
万分の一に保つ上で欠かせない
作用がある。すなわちビタミン
D欠乏状態では、カルシウムの
吸収量が減り排泄量が増えてカ
ルシウムの血中濃度が低下する
ため、副甲状腺ホルモンのパラ
ソルモンが骨吸収を促してカル
シウムを血中に溶出させるが、
過度に溶出したカルシウムは血
中から細胞内に移行して細胞内
カルシウム濃度を上昇させ、濃
度差を保てなくなる。この細胞
内カルシウム濃度が上昇した状
態をカルシウムパラドックスと
呼ぶが、骨粗鬆症が進行悪化す
るだけでなく、あらゆる生活習
慣病の危険因子になる。

生活習慣病とカルシウムパラ
ドックスとの関連は、動脈の平
滑筋細胞内のカルシウム濃度
が上昇すると血管が収縮するた
め高血圧になり、動脈壁にカル
シウムが沈着して動脈硬化を促
し、膵臓のβ細胞のインスリン
の分泌機能を阻害して糖尿病を
悪化させる。またカルシウムは
神経系、内分泌系、免疫系の情
報伝達のメッセンジャーとして
機能しているが、細胞間の情報
伝達が阻害されることで、免疫
異常、悪性腫瘍の誘因になる。

ビタミンDは
癌を予防する

ビタミンDは広く全身の細胞
に分布するビタミンD受容体を
介して、細胞分化を誘導し、生
命活動全般を司っているが、乳
癌細胞にビタミンD受容体が存
在することが1979年に報告
されてから多くの悪性腫瘍細胞
で存在が確認され、ビタミンD
が腫瘍細胞の増殖抑制、正常細
胞への分化誘導のような癌を予
防する作用が示唆されている。

この点を裏付けるビタミンD
を生成する日照と悪性腫瘍の関
連は、1980年にガーランド
博士らが乳癌と大腸癌の発症率、
死亡率が日照の豊富な地域で低
く乏しい地域で高いことから、
紫外線量の多寡によるビタミン
D生成量の違いによると報告し
たのを嚆矢とする。2002年
にグラント博士らは乳癌、大腸
癌、卵巣癌、前立腺癌、悪性リ
ンパ腫、膀胱癌、食道癌、腎臓
癌、肺癌、膵臓癌、直腸癌、胃
癌、子宮癌の十三の悪性腫瘍の
発症率、死亡率と紫外線量の多
寡との間に関係があることを報
告した。また悪性黒色腫につい
ては、1982年にシヨウ博士
らが屋内労働者に多く屋外労働
者の二倍になると報告している。

慢性痛症の特異性

慢性痛症の特異性は、痛みが
病気の本体で、組織傷害は既に
治癒しているため、有効な治療
薬はなく、長期にわたり耐え難
い痛みで苦しむことである。そ
のため国際疼痛学会の分類用語

委員会は1986年に痛みの症
状のみに着目して、複合性局所
疼痛症候群(Complex regional pa
in syndrome・CRPS)と呼ぶこと
を提唱し、交感神経依存性疼痛
をCRPS Type I、神経
損傷と関連する神経障害性疼痛
をCRPS Type IIとす
ると定義した。

神経損傷がないCRPS T
ype Iの痛みのメカニズムを
説明する説に痛みの悪循環説が
ある。すなわち患部の交感神経
が異常に興奮して血流を阻害し、
酸素や栄養の供給が滞るため組
織傷害を起こして発痛物質を分
泌、遊離するのが痛みの原因で、
交感神経依存性の痛みの悪循環
が成立するため、痛みは慢性化
し難治となるとした。

神経損傷と関連するCRPS
Type IIは帯状疱疹後神経痛
やカウザルギーのように、神経
の可塑的な歪みにより神経が
自発的に興奮して起こる神経
障害性疼痛である。なお痛みの
増幅には中枢神経系の侵害受容

(四ページからつづく)

ニューロンが過敏化する中枢性感作が関係するとされている。

慢性痛症の治療

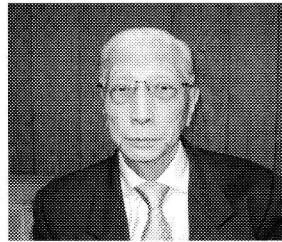
慢性痛症の治療の第一歩は鎮痛である。光線療法には赤外線、深部温熱作用で患部の血流を改善し、筋緊張を緩和し、発痛物質を排泄することで即効性の鎮痛効果がある。加えて治療を反復、継続して繰り返し鎮痛を体感することで、交感神経が異常に興奮する状態を鎮め、痛みの中樞性感作からの離脱を図る。またビタミンDには神経線維を囲むミエリンの再生を促して神経の可塑的な歪みを改善する効果が指摘されている。

慢性痛症の治療で最終的に求められるのは、痛みの症状が消失して、日常生活動作（ADL）に支障がないようにすることであるが、治療に至る過程で深く関係するのは自己治癒力であり、自己治癒力を向上させるのは血流によって運ばれるエネルギーしかない。

一般演題

「光線療法による

子宮筋腫の治療経験」



社団法人 神奈川県療術師会
海渡一二三

目的

光線療法で手拳大以上の子宮筋腫を治療した経験を報告する。なお報告例は乳腺症の診断も受けていた。また治療中に虫垂炎の疑いがあると診断されたので追加して治療した。

症例

【患者】52歳 女性 栄養指導員。
【主訴】筋腫による膀胱圧迫症状の頻尿、下腹部不快感。

【現病歴】30歳代に子宮筋腫の診断を受けた。48歳を過ぎた頃から主訴を自覚するようになり、52歳の時には手拳大を超え、その左寄りに腫瘍を触れたため心配で友人に話したら、サナモア光線療法を紹介されて演者の治療院に來所した。また乳房でしこりを触れ、乳腺症と診断されていたが、治療の必要はないと言われていた。

【既往歴】乳腺症。

【初診時所見】顔色は青ざめ貧血気味で冷感性で痩せていた。なお更年期期のぼせやほてりのような自律神経機能失調に伴う症状を訴えていたが、閉経は迎えていなかった。

療法ならびに経過

治療は平成21年5月から平成22年6月まで14ヶ月である。カーボンはA BまたはB Dの組み合わせを用いて、四台の治療器で四灯照射した。照射部位ならび

に時間は、側臥位で顔、腰、臀部、膝に各15分、次に下腹部に30分、後頭部15分、足裏30分、

次いで仰臥位で乳房に左右から15分、触れた筋腫を狙って左右横腹上部に15分、左右横膝に15分である。治療を始めて3ヶ月後、患者は右下腹部の痛みで病院を受診し、虫垂炎の疑いで投薬を受けた帰路に來所した。來所時、痛みがあったので、右下腹部に集光器一号を使いA Bで60分照射したら痛みなくなった。次の日も痛みはなかったが同様に照射した。

治療を始めて5ヶ月経過した頃には、血色が良くなり、頻尿、下腹部不快感などは軽減し、腫瘍は小さくなって下方に下りた感じがした。年が改まってから腫瘍は触れにくくなり、頻尿はなくなり、医師から子宮筋腫が縮小したことを告げられた。このように患者の所見が改善したので治療を打ち切り、自宅で

光線療法を続けるように指示した。

考案ならびに結語

子宮筋腫と乳腺症の原因は不明だが、初潮から閉経まで女性なら誰でも罹る可能性がある最も頻度の高い疾患で、閉経後に自然経過で縮小することから、女性ホルモンのエストロゲンの過剰とプロゲステロンとの不均等が関係して発症すると考えられている。ところで報告例は年齢的に閉経間近で、閉経後に縮小することは医師から聞いて知っていたが、光線療法で子宮筋腫が縮小するのが早まることが期待できるなら治療を受けたいと希望したので、治療することにした。治療を始めてから、気分は爽やかになり、更年期症状は軽減し、子宮筋腫は縮小した。なお報告例は平成23年の春頃に閉経を迎えた。

治験例報告

サナモアで

変形性膝関節症を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 〇七八三三三三三三三三

症例 65歳 女性 主婦

症状 約二年前より、椅子から立ち上がった際に、膝に痛みを感じることがあったが、最近、痛みが強くなり、自宅の階段を手すりにつかまって上り下りするようにになってきたため、近医整形外科を受診した。この際、変形性膝関節症と診断されて、投薬に加え、膝関節内への注射を受ける。しかし、一か月様子を見たが症状は改善せず、痛みも一向に引かなかったため、十数年来サナモアを愛用している妹に光線療法を強く勧められ来所した。

療法経過 治療はBカーボンで、膝関節を前方から30分、後方から20分照射し、Aカーボンで腹部20分、腰部20分、足裏20分の照射を施行した。翌日から、自宅での治療を開始。一日二回以上の照射を行うこと、膝関節の照射に際して、二回の

うち一回は、Aカーボンで照射することを指示した。
治療を開始してから、三週間が経過した頃には、平地の歩行

治験例報告

痛みと腫れが強い

変形性膝関節症をサナモアで治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九二五八二一〇三九
五七二一五七三

症例 72歳 女性

症状 サナモア愛用者。以前から膝関節の痛みを認めていたが、痛みが強くなり、腫れて満足に歩くこともできなくなったため病院を受診。そこで、膝関節の炎症が強く、関節内に水が溜まっているため、その水を少し抜いた方がいい」と説明され、その日のうち

に、溜まった水を抜く治療を受けた。しかし、その後、友人から、あまり水を抜くとかえって良くないと言われ、サナモア光線療法で治したいので治療法を教えてください」と連絡を受けた。

療法経過 治療には、Bカーボンを使用し、膝関節を前後から30分ずつ照射後、集光器を使

全自動光線治療器

はつらつさんと

ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまして、この点を改良したのが全

用して、膝関節の前後、左右の四方向から、各30分ずつ照射すること。そして、必ず、腰部、股関節、足裏も30分程度照射するよう指示した。その後の電話で、Bカーボンで照射した部位の皮膚が、ヒリヒリするがどうしたら良いかと相談されたので、毎日続ければ皮膚が光線に慣れてきて、ヒリヒリしなくなるから大丈夫と説明した。

その二か月後に再び電話があり、膝関節の水を抜いたのも最

自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントでけるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

*

なお、はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

初の一回だけで、水が溜まらなくなり、痛みもひき、スムーズに歩けるようになったとのこと。その様子を見ていた主治医やリハビリの先生が大変驚かれ、手術もせずによくここまで回復したと、とても不思議がられていと報告された。

今回の治療経験から、患者はCカーボンの効果に関心されていたので、骨を強くする効果もあるから、これからも継続するように説明した。

治療例報告

脊柱管狭窄症の

サナモア治療経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七三二五〇六七

症例 69歳 女性 主婦

症状 普段から健康面に留意し、

運動もしていたが、平成22年3月、運動後に突然、腰が痛くな

り病院を受診。そこで医師から

脊柱管狭窄症と診断されて、痛

みが強いようであれば、手術も

検討しようと言われた。し

かし、手術には前向きになれず、

サナモア光線療法での治療を希

望され来院。初診時は、腰の痛

みが強く、歩くのもつらいと訴

えていた。

療法経過 治療には、当初、B

Dカーボンを使用し、痛みが和

らいでから、A Bカーボンを使

用した。四台の治療器を使用。

始めに側臥位で、腰部、臀部を

60分、顔、膝を15分、後頭部、

腹部、足裏を15分照射した。次に仰臥位として、右肩と左股関節と右膝側面に20分、さらに左

肩と右股関節と左膝側面に20分の照射を施行した。治療は、四月末まで要したが、腰痛は軽快し、病院の検査でも明らかな改善を確認された。現在は、自宅治療を続けているが、良好に経過している。

体験報告

大腸ポリープに対する

サナモアの効果

山形市 新道 壽氏

(平成五年 光線治療師認定)

TEL 〇三六四一七四八六

今回は、自分自身の体験を報告いたします。

平成二十三年五月下旬、便秘

が続いていたため、近医を受診

したところ、大学病院を紹介さ

れました。そこで、大腸カメラ

を受けることになり、検査の結

果、大と小のポリープが二個見

つかり、後日、ポリープを切除

する予定となりました。

九月二日、ポリープを切除す

る目的で、二度目の大腸カメラ

を施行しましたが、前回指摘さ

れた二個のポリープは、いくら

探しても見つからず、別の小

さなポリープを切除して終了と

なりました。

九月十五日、主治医から、組

サナモアカーボンの 類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

株東京光線療法研究所

織検査の結果、悪性所見はないものの、年に一度くらいは、大腸カメラを受けた方がいいと説明され、一連の検査は終了しましたが、実は、この間、大腸に

BDカーボンに変更。三台の光線治療器を使用し、腹部の照射を中心として、背部、膝、足裏の照射を、一回一時間程度行っていました。

結果的に、大腸カメラで指摘された大小二個のポリープが消えていたことは、サナモアの効果であったと考えています。

サナモア光線療法 愛用者の声

私のサナモア

光線体験記

盛岡市 大木 まゆみ様

私は、昨年十二月から、盛岡市にある「やすらぎ整体院」で、サナモア光線治療と整体治療を受けています。今の私は、治療を始める前に比べたら、天と地ほどの差があります。

以前の私は、精神的に不安定で、イライラや焦燥感が強かったのですが、今では、非常に安定し、穏やかで何事にも前向きになっています。家族に対しても、攻撃的で、粗暴な振舞いから喧嘩が絶えなかったことが嘘のようで、いつの間にか感謝の想いに変わっ

てきました。体の変化も顕著で、むくみがとれたこと、靴のサイズが25・5 cmから24 cmに小さくなったこと、服のサイズが13号から9号になったことがあります。もしサナモアと出会っていなかったら、今の自分はなかったと思います。私の治療にお付き合ひ頂き、いつも温かく励まし、支えてくれた「やすらぎ整体院」の、のり子先生と、しん先生には心から感謝の気持ちでいっぱいです。また「太陽を浴びれば、医者はいらない」の著者である宇都宮光明先生にも同じ気持ちであります。

私は、子供の頃からたくさん病気で付き合ってきました。片頭痛、慢性副鼻腔炎、突発性難聴、蕁麻疹、乳腺炎、アトピー性皮膚炎、むちうち症、腰痛症、過敏性大腸症候群、腎盂腎炎、尿路結石、不整脈、子宮内膜炎、子宮筋腫、冷え性、うつ病、薬物によるショックなど、ありとあらゆる分野の病気を経験してきたからこそ分かるのです。ただ、初めて全身照射を受けた時は、不安と緊張でいっぱいでした。これまで、他の治療院で、部分照射は受けていたのですが、友人の

紹介で「やすらぎ整体院」で治療を受けることになりました。ベッドに横になり、全身治療を開始しましたが、一分も経たないうちに「熱くてやけどする」と大声で叫びました。五分が経過した頃、熱さのためにもう我慢できなくなり、治療を中止したのですが、しばらくは、全身が熱く、のぼせ上がった状態でした。ただ、足先の先だけは、冷たかった感触を覚えています。本当に今では信じられませんが、私の初めての全身治療体験は、こんな感じだったのです。

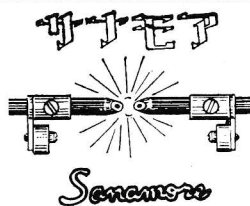
(つづ)

サナモア体験記募集

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@hr.catv.ne.jp



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五二八―
三七二―五三三―

(本紙の無断転用を禁止します。)